

(3)尾張東部構想区域 (瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町)
(人口の見通し)

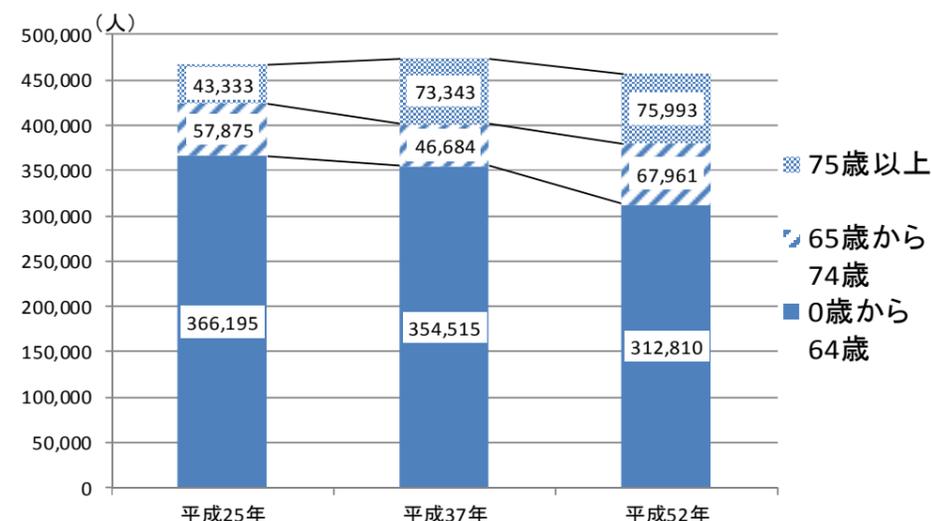
○ 総人口は、平成37年(2025年)には微増し、平成52年(2040年)には微減します。65歳以上は増加していき、県全体より増加率は高くなっています。

<人口の推移>

※ () は平成25年を1とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口					
	平成25年	平成37年	平成52年	65歳以上人口			75歳以上人口		
				平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
尾張東部	467,403 (1.00)	474,542 (1.02)	456,764 (0.98)	101,208 (1.00)	120,027 (1.19)	143,954 (1.42)	43,333 (1.00)	73,343 (1.69)	75,993 (1.75)

<尾張東部構想区域>



(医療資源等の状況)

- 大学病院が2病院あり、救命救急センターも3か所整備されています。人口10万対の病院の一般病床数や精神病床数、医師数や看護師数は県平均を大きく上回っており、医療資源が豊富です。
- DPC 調査結果 (DPC 調査参加施設: 4病院) によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害) 及び高齢者の発生頻度が高い疾患 (成人肺炎・大腿骨骨折) の入院実績があることから、区域内に急性期入院機能を有していると考えられます。

○ 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC 調査データに基づく緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷) の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられます。

○ 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成28年3月現在、構想区域内 (3病院) において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料 (ICU)・新生児特定集中治療室管理料 (NICU)・総合周産期特定集中治療室管理料 (MFICU)・ハイケアユニット入院医療管理料 (HCU)・脳卒中ケアユニット入院医療管理料 (SCU)・新生児治療回復室入院医療管理料 (GCU) の届出がされています。

○ 平成25年度 (2013年度) NDB データに基づく特定入院料の自域依存率は高い状況にあります。

<医療資源等の状況>

区分	愛知県①	尾張東部②	②/①
病院数	325	18	—
人口10万対	4.4	3.9	88.6%
診療所数	5,259	309	—
有床診療所	408	30	—
人口10万対	5.5	6.4	116.4%
歯科診療所数	3,707	226	—
人口10万対	49.9	48.4	97.0%
病院病床数	67,579	5,914	—
人口10万対	908.9	1,265.3	139.2%
一般病床数	40,437	3,788	—
人口10万対	543.9	810.4	149.0%
療養病床数	13,806	781	—
人口10万対	185.7	167.1	90.0%
精神病床数	13,010	1,295	—
人口10万対	175.0	277.1	158.3%
有床診療所病床数	4,801	331	—
人口10万対	64.6	70.8	109.6%

区分	愛知県①	尾張東部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	1,534	—
人口10万対	197.9	328.2	165.8%
病床100床対	20.3	24.6	121.2%
医療施設従事歯科医師数	5,410	319	—
人口10万対	72.8	68.2	93.7%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	787	—
人口10万対	141.6	168.4	118.9%
病院従事看護師数	36,145	3,440	—
人口10万対	486.1	736.0	151.4%
病床100床対	49.9	55.1	110.4%
特定機能病院	4	2	—
救命救急センター数	22	3	—
面積 (km ²)	5,169.83	230.14	—

(入院患者の受療動向)

○ 各機能区分で、おおむね20%前後の患者が名古屋医療圏に流出しています。また、名古屋医療圏からの患者の流入も多くなっています。

<平成 25 年度の尾張東部医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
尾張東部医療圏	高度急性期	61	*	*	211	*	*	*	*	*	*	0	*	*	272
		22.4%	—	—	77.6%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	136	*	*	661	*	*	*	11	*	11	0	*	*	819
		16.6%	—	—	80.7%	—	—	—	1.3%	—	1.3%	—	—	—	100.0%
	回復期	174	*	*	448	*	18	*	12	*	36	0	*	*	688
		25.3%	—	—	65.1%	—	2.6%	—	1.7%	—	5.2%	—	—	—	100.0%
慢性期	130	*	*	380	0	11	*	26	*	16	0	*	*	563	
	23.1%	—	—	67.5%	—	2.0%	—	4.6%	—	2.8%	—	—	—	100.0%	

<平成 25 年度他医療圏から尾張東部医療圏への流入入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
尾張東部医療圏	高度急性期	154	*	*	211	*	23	34	21	*	29	*	*	*	472
		32.6%	—	—	44.7%	—	4.9%	7.2%	4.4%	—	6.1%	—	—	—	100.0%
	急性期	414	*	*	661	*	51	77	49	22	70	*	13	12	1,369
		30.2%	—	—	48.3%	—	3.7%	5.6%	3.6%	1.6%	5.1%	—	0.9%	0.9%	100.0%
	回復期	270	*	*	448	*	32	51	36	15	47	*	11	*	910
		29.7%	—	—	49.2%	—	3.5%	5.6%	4.0%	1.6%	5.2%	—	1.2%	—	100.0%
慢性期	117	*	*	380	*	24	*	39	*	49	*	*	11	620	
	18.9%	—	—	61.3%	—	3.9%	—	6.3%	—	7.9%	—	—	1.8%	100.0%	

(課題)

- 大学病院が2病院あり、ドクターヘリ事業の基地病院がある等、高度な医療を広域に支える役割があり、今後も高度・専門医療を確保し、緊急性の高い救急医療について、他の構想区域との連携体制を維持していく必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。